



1月6(土)・7(日)、能登半島地震の被災地・富山県氷見市まで支援物資を届けてきました(個人としての行動)

能登半島地震にて犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

1月6(土)・7(日)、個人的な行動として、富山県氷見市まで支援物資を届けてきました。被災直後は現地でのボランティア活動を試みましたが、県外からの参加が可

能な自治体はごく僅かである上、すでに募集数に到達していたことから断念しました。少なくとも視察はしたいとの思いで各地の状況を調べたところ、交通渋滞に拍車をかけてしまう恐れから、石川県は避け、富山県氷見市に縁のある方にアレンジいただき、今回の行動に至りました。誠に恐縮ではありましたが、副市長にお話する時間をいただくことができ、被災状況や発災後1週間の様々な体験談を伺いました。生の声はやはり説得力が違います、貴重な情報を本当にありがとうございました。今後に活かします。



『今、自分ができること』のタイトルで氷見市立小学校の学校だよりに掲載いただきました

個人的に富山県氷見市に支援物資を運んだ行動が、図らずも、氷見市立上庄小学校の学校だよりに取り上げていただきました。

自身のSNSで活動を発信したところ、開成小学校時代の恩師の目に留まり、その恩師と懇意にされている上庄小学校の坂田校長に伝わった次第です。

もちろん「今、自分ができること」としての行動ではありますが、被災状況をこの目で直接見ることによって、想像力を養い、いざというときに活かすためでもあります。今後も、立場上の事情が許

学校だより

上庄

令和6年1月15日

氷見市立上庄小学校

今、自分ができること

能登半島地震発生から2週間がたちました。多くの方が被災した氷見市ですが、少しずつ通常の生活にもどりつつあります。行政機関の方々や、様々な支援をしてくださった方々のおかげだと感謝しております。

支援していただいた一つを紹介いたします。神奈川県開成町の町長である山神裕さんが、個人としての行動で(自ら車を運転して)支援物資を届けてくださいました。山神さんは、私が師事している露木和男先生の教え子なので後で知りました。結局は「人」と「人」とのつながりが日本をつくっているのだと感じました。「支援物資」はもちろんですが、支援に来てくださった「人」が多くの人を勇気づけてくれたのではないのでしょうか。

このようなときだからこそ、「今、自分ができること」を考えてみたいものです。教員であるからには、「楽しい学校」「楽しい授業」となるように努力を続けるしかないと思っています。

これまで以上に、子供たちが「楽しかった」と思える学校生活を送れるよう、これからも頑張っていきます。



<左から松原観光協会会長、山神町長、徳田副市長>

す限りにおいて、同様の行動をとってまいります。

山神ゆたかタイムズについて

山神ゆたかタイムズは、これまでに山神ゆたかの集会やイベントなどにご参加いただいた方々にお配りしております。別途、配布をご希望の方はお手数ですが、後援会までご連絡ください。引き続き、後援会の会員を募集していきます。よろしくお祈りいたします。

SNSや町長ブログへのリンクはこちらから



後援会へ加入のご案内

